

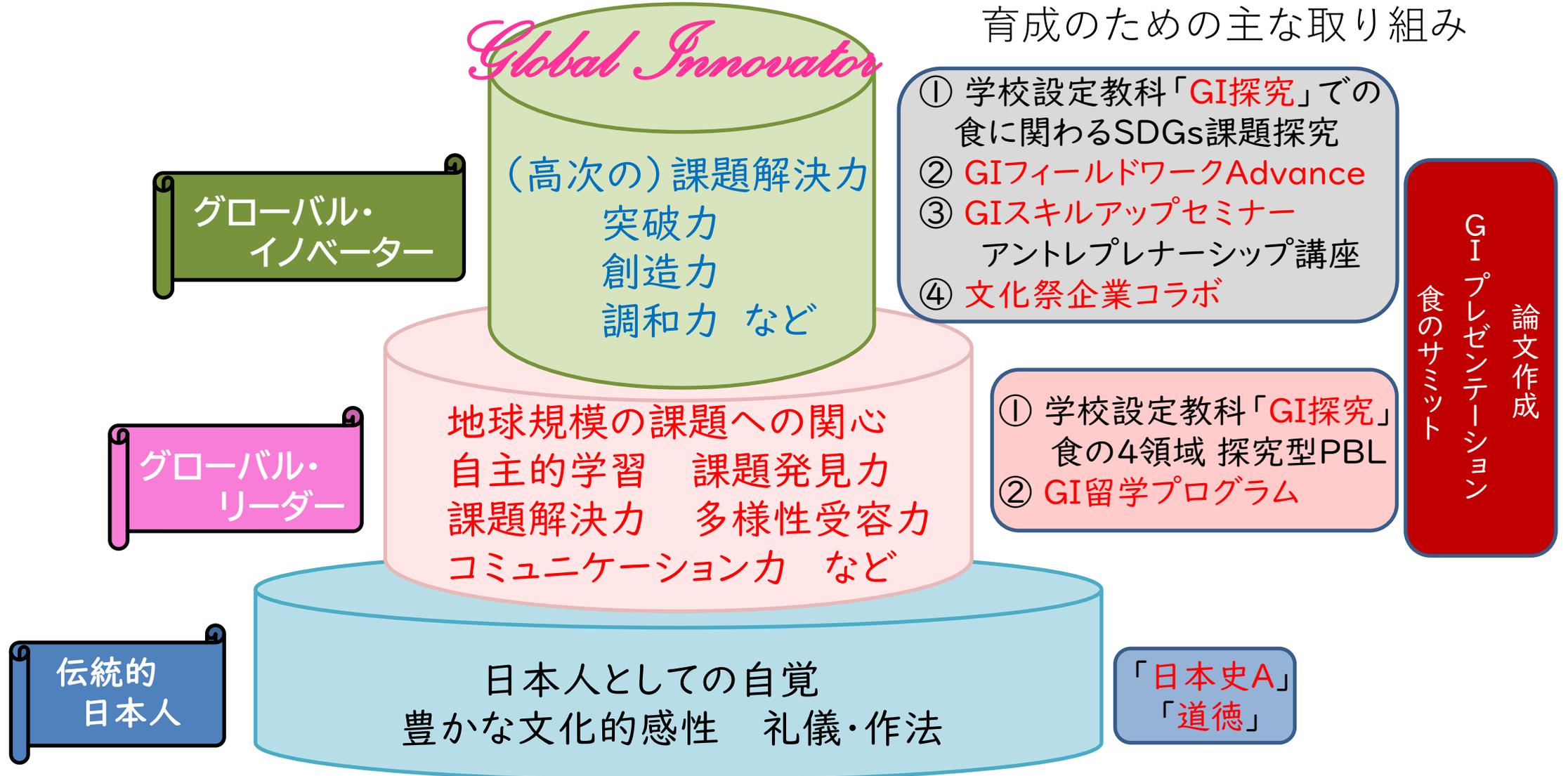
# ハイブリット型国際会議の実践 ～コロナ下における「食のサミット」～

---

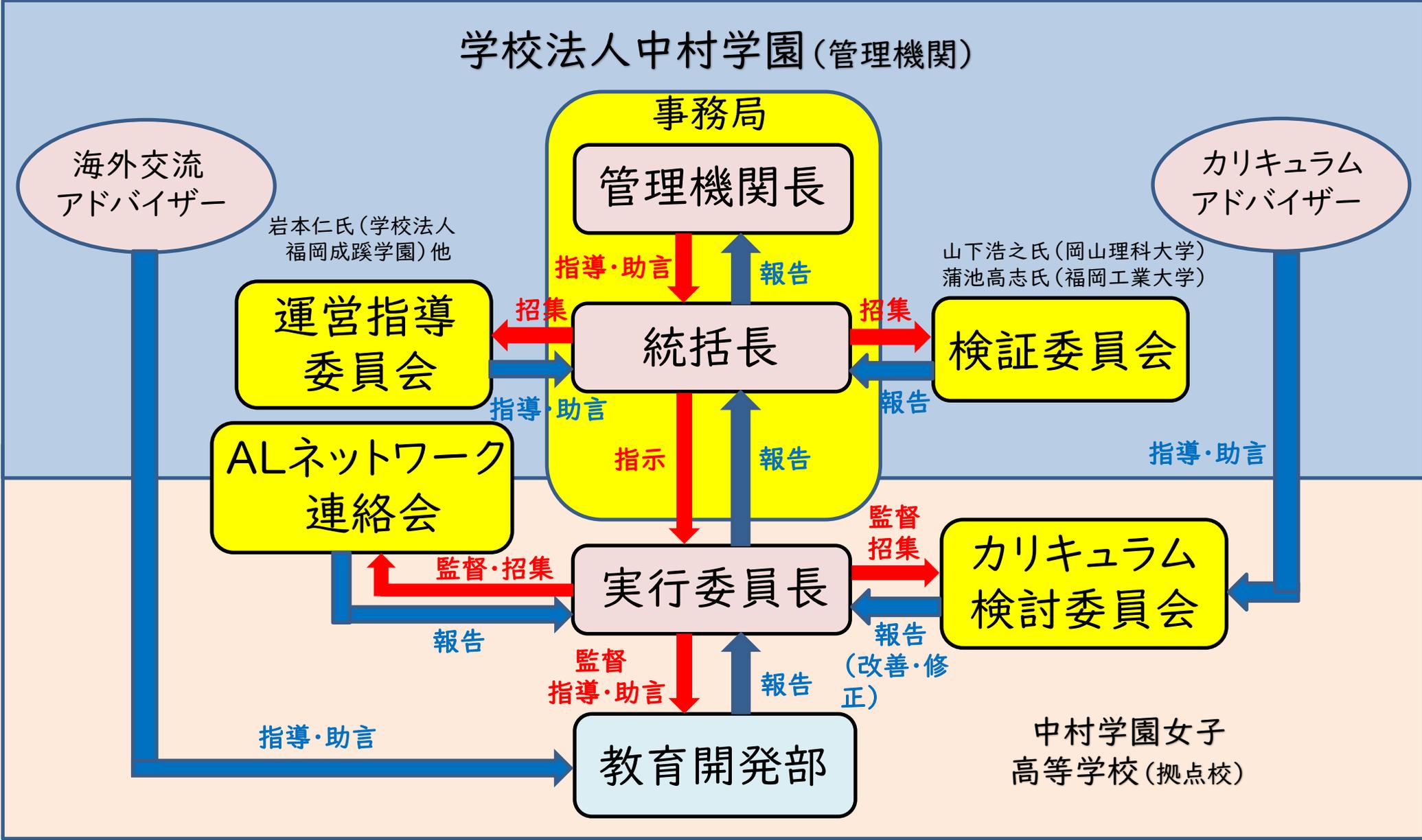
中村学園女子高等学校・教育開発部長 西岡隆行

# 「食」の課題解決により持続可能な社会を創出するイノベーターの育成

## 育成のための主な取り組み



# 事業運営体制



# 連携するALネットワーク

## 【連携校】

- ・中村学園三陽高等学校
- ・京都先端科学大学附属高等学校
- ・高知県立高知西高等学校
- ・SMK Sultan Ibrahim Girls School(マレーシア)
- ・84th School (モンゴル)
- ・Academic of Lyceum Westminster International University in Tashkent(ウズベキスタン)
- ・信男教育学園高等学校(中国)

## 【事業協働機関】

- ・中村学園大学・中村学園短期大学部
- ・中村調理製菓専門学校
- ・中村国際ホテル専門学校
- ・立命館アジア太平洋大学
- ・九州大学 共創学部
- ・University of Hawaii Kapiolani Community College(アメリカ・ハワイ州)
- ・University of Westminster(ウズベキスタン)
- ・Merced College(アメリカ)
- ・University of Technology Malaysia(マレーシア)
- ・SGインキュベート株式会社
- ・株式会社リンガーハット
- ・株式会社久原本家グループ
- ・国連WFP協会
- ・NPO法人Table For Two



01

# 本事業における国際会議 ～食のサミットの実施について～

---

# 食のサミットの目的

■ 各国からの代表者ととともに地球規模の課題「食」に関する解決策を議論

→ 結果をまとめ提言書を作成

→ 提言書を後日、国連WFP協会へ提出

⇒ 取り組み成果を世界へ発信

■ 英語によるコミュニケーションと表現を実践する場

→ 中高生に異文化交流と語学の重要性を喚起する



02

## SGH事業で実施時の様子との比較

---

# SGH事業での実施の様子

- 毎年テーマを変え(例「食と飢餓」「食と水」)、諸問題の解決策を協議
- 【予選】参加校は国内外問わず公募
  - テーマにもとづいた提言書・ビデオの提出
- 【本選】提言書の内容を具体的にプレゼンテーション
  - 審査員・参加生徒が審査・投票
  - 最優秀チームを決定し、表彰



# SGH事業での実施の様子

## 【SGHでの実施スケジュール】

### ■1日目:プレ会議

…参加チームからメンバーを混成し、テーマに沿った問題点と解決策を話し合う。それらをまとめて共同宣言の素案を作成

### ■2日目:サミット本選

…歓迎レセプション

…コンテスト本選（チーム別プレゼンテーション）

プレ会議の内容を精査し、共同宣言策定  
…フェアウェルパーティー

## 【WWLでの実施スケジュール】

### ■1日目:プレ会議

…参加チームからメンバーを混成し、テーマに沿った問題点と解決策を話し合う。それらをまとめて共同宣言の素案を作成する。※ハイブリッド形式

### ■2日目:サミット本選

…コンテスト本選（チーム別プレゼンテーション）  
プレ会議の内容を精査し、共同宣言策定  
※ハイブリッド形式



03

## WWL第1年次の実施の様子

---

# WWL第1年次の実施の様子

## 【テーマ】

SDGs目標12「つくる責任、つかう責任」につながる  
「食」に関わる諸問題とその解決策

## 【参加校】

- ・拠点校
- ・中村学園三陽高等学校
- ・京都先端科学大学附属中学・高等学校
- ・高知県立高知西高等学校
- ・マレーシア・スルタンイブラヒム女子高等学校
- ・モンゴル84th学校
- ・ウズベキスタン・ライシーアム高校

## 【コロナ禍での実施】

コロナ禍での実施となるため、ALネットワークの連携校との実施となった。  
他校の参加（来校含む）は見送りにすることでコロナに対しての配慮を行った。



# WWL第1年次の実施の様子

## 【実施要領】

### ■ オンラインで事前会議

- ・事前打ち合わせ

### ■ プレ会議・サテライト会議

- ・提言書策定のためのディスカッション

### ■ 本選

- ・参加校ごとの発表・共同宣言



# 実施の様子

## ■ オンラインでの事前会議

- ・ 自己紹介、アイスブレイク
- ・ 各参加校の代表者たちのテーマに関する  
取り組みのアウトラインを共有

## ■ プレ会議

- ・ 本校と中村学園三陽高校の生徒は対面。  
来校できなかった国内外5つの連携校の代表はオンライン参加  
各チームによる提言（課題とその解決策）の説明を行い、質疑応答
- ・ 各校から1人ずつ集められてグループを作り、オンライン上で互いの課題と解決策についての意見交換  
を行い、提言書の案を作成



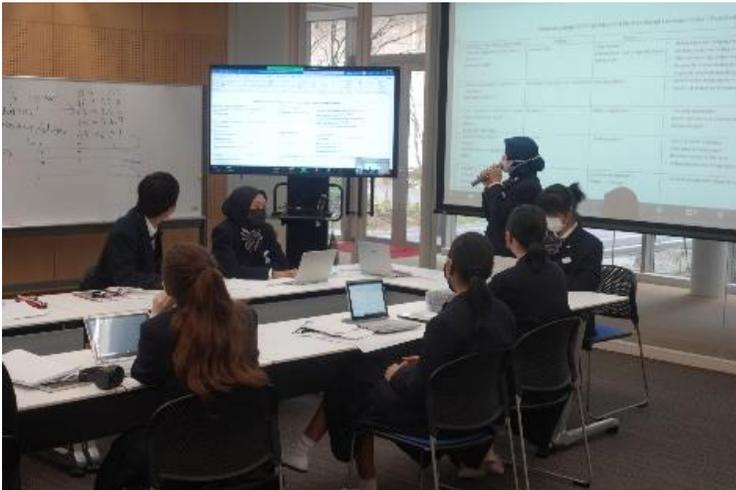
# 実施の様子

## ■プレ会議

- ・拠点校と来校している中村学園三陽高校とのリアルセッション。

各グループから出された提言案を骨子として、3つのサテライト会場での提言案も加味して一つの提言書をまとめていく作業を行う。

提言書は、日英両言語で作成し、オンラインで参加したチームにもメールで送信する内容の確認をもらう。



# 実施の様子

## ■ サテライト会議

- ・GIクラス以外からも参加者を募り実施
- ・サミットへの関心を喚起する
- ・他校からの募集や参加は見送った
- ・提言の個人発表、グループ発表
- ・課題と解決策のまとめ・絞り込みプレ会議へ提出



# 実施の様子

## ■本選

- ・時差や発表中の通信トラブルを想定し、  
海外連携校チームには事前に発表動画を作成・提出してもらう  
→ステージ上で放映
- ・国内連携校と発表形式が異なるため、採点などの審査は行わない
- ・各チームの課題と解決策に関する提言の発表  
→国内連携校チームは通常通りの発表形式、  
海外連携校チームは動画による発表形式をとり、質疑応答は全チームともリアルタイムで実施



## ○本選発表内容

No.	学校名 (国名)	グループ名 (人数)	テーマ	提言概要
1	General Secondary School #84 (モンゴル)	MAZAALAI (5)	To improve meat transportation and delivery hygiene in open markets in Ulaanbaatar	衛生面の規制基準の見直しと SNS の活用
2	高知西高校	Shining (2)	To get many people to know about FOOD BANK and use it	フードバンクの活用
3	SMK (P) Sultan Ibrahim (マレーシア)	Zside-Out (5)	To find a way to reduce food waste	食品廃棄を減らす料理法
4	中村学園女子高校	Food Ranger (4)	To reduce food loss at our school shop	売店での食品廃棄をなくすアイデア
5	京都先端科学大学附属高校	Waires (5)	Aiming for a partial solution	飢餓を解決する寄付の方法
6	Academic Lyceum of Westminster Intl. Univ. in Tashkent (ウズベキスタン)	Guardians of the Globe (5)	To find the way to reduce and minimize the food waste	食品廃棄を減らすための嫌気性消化
7	中村学園三陽高校	Wild boars (3)	To reduce food waste by compost	コンポスト活動

### 1. Introduction

We have a serious problem that we can't look away on our daily life. That is Food loss and waste. Nowadays, one-third of the food produced in the world is wasted. We found a comprehensive solution to solve these issues.

### 2. Proposal

#### (1) Current Problems

1. Food loss
2. Sanitary environment
3. Health promotion
4. Starvation

#### (2) Solutions

1. Turn food loss into compost and energy
  - ・ The Anaerobic Digester
  - ・ Compost by using green cone
  - ・ Separation of combustible waste → Food waste goes to compost
  - Compost management area : Township, Government, School → through volunteer, NPO
2. Donation using leftover food
  - ・ Place donation box in the school
  - ・ Collect unnecessary food from household to school
  - Sent through food bank and volunteer
3. Campaign
  - ・ Put the discount sticker on the food that is about to expire as soon as possible
  - ・ Share the dish recipe using food that wasted through website and SNS to attract people
  - ・ Refrigerator Management application
  - ・ Write down the expiration date larger

#### (3) Action Plan

1. Students led organization of a compost location
  - Plant flowers using compost
2. Create website that contain recipe of dishes made from food waste
3. Create committee specialized on sociality problems
4. Make a list before buying things

### 3. Conclusion

This time we discussed about SDGs 12, Responsible consumption and production. Food loss, Sanitary environment, Health promotion and Starvation are the main problem we focused on. At the same time, we think that these problems are too difficult to solve for students. Therefore, the society and school need to work together for solving these problems. So each person should continue to make efforts and to raise awareness of the problem.

04

## 工夫した点・苦労した点

---

# 工夫点

## ①オンラインでの事前会議

- ▶今回初めて事前のオンライン会議を実施したことで、本番をスムーズに迎えることが出来た。
- ▶英語でのやり取りに必要な事前準備に対し、意欲を喚起することにつながった

## ②サテライト会場の設置

- ▶サテライト会場にて話し合った内容も提言書策定に結び付けることが出来たため、生徒全体での参加を促すことができた。
- ▶事後アンケートの結果から、サミットの実施前後で課題や解決策への関心が高まったことが解った。

## ③事前の発表動画回収

- ▶当日のオンライン回線の不調発生というトラブルを未然に防ぐことにつながった

# 苦勞した点

## ①時差

- ▷最大で4時間(ウズベキスタン)あり、参加校に負担をかけることとなった。欧米とのネットワークとなると更なる苦勞が想定される。
- ▷質疑応答をリアルタイムで行うことは学習効果として高かった。

## ②コロナ禍により参加者を公募できない

- ▷意欲的な発表者を集めた方が会自体の質向上につながる。
- ▷連携校との協力はもちろんだが、ALネットワーク外からの参加があった方が連携校の刺激にもなる。

## ③対面でしか経験できないこと

- ▷提言書を作る作業では複数名での協議が必要なため、オンライン越しでは1対1の会話に陥りやすく、議論を深めづらい。

## ④回線の不確実性

- ▷常に通信不良のおそれを抱えている。会自体のテンポが緩慢になりやすい。
- ▷事前録画の動画等でリスクを避けたが、臨場感の低下は否めなかった。